

最優秀賞 「わが家の新しいルール」

井上 奈々子

「えー、またチャーハン？」

夏休み前、昼食にチャーハンを作りました。毎日チャーハンを食べさせているわけではありません。数週間前の昼食に作っただけ。自分で何が食べたいとリクエストしたわけでもなく、聞くと何でもいいと答えるんです。

あまりの言い方に怒りが爆発。文句を言うなら食べなくてもいいと。そして晩御飯も作らないと宣言。

作る大変さも、食べられることのありがたさも、感謝もなく、食べたいものが食べられることが当然と思っている子供達。

日頃から「食べる」ことに関しては話をしてきています。今年は、米作りの体験にも参加し、その大変さも学んでもらっています。それなのに！な発言に、親としてがっかり。

さて、作らない宣言をしたので長男に作ってもらうことに。メニューだけ伝えて全てやってもらいました。味つけも全て長男が考えました。作っている間、台所にも近づきませんでした。

「さんまの開き」「じゃが芋とピーマンの炒め物」「ソーセージ」「みそ汁」がその日の献立。

一時間以上かけて作ってくれました。焼き肉のたれと塩コショウの味つけの炒めもの。レンジでチンしただけのソーセージ。それでもとても美味しかった。長男、料理は楽しかったと。でも作る大変さ片付けの大変さを感じてくれたみたいです。毎日絶対無理と。食事に文句を言ったら、ご飯作りを担当するという新たなルールがわが家にできました。

この夏休みも、朝食作りが宿題だったり、友人達とカレー作りもしました。

ちょっとしたら忘れる「食べられることのありがたさ」

これからも、子供達にお手伝いを含め、いろいろな「食」に関する体験をさせながら、「食」を大切にできる子に育てていきたいと思っています。

そのうち、「お母さん、ご飯できてるよ」って遅くなった日に言われるとうれしいし、理想なんですけどね。

ちなみに、わが家にできた新しいルール。今の所ぎりぎり実行はされていないです。感謝の気持ちを忘れないでいてほしいです。